

6. 進路について



進路は、単に「高校どうする？」ということにとどまりません。

- ①自分の能力や適性を見つめ直す（≒自分の長所 得意なこと 好きなことを考える）
- ②社会の中での自分の役割を見つける（≒なりたい職業を見つける）
- ③将来幸せに生きるために どのようにすればよいかを考える
- ④その実現のために、必要な力を身に付ける（≒夢を実現するために どうすればよいか）

※進学先での3年間を幸せに過ごすことができるか

※進学した学校を卒業したあとにどうしたいか

3年後、5年後、10年後…を見通して進路を考えていきたいものです。



【進路決定にあたって】

- 1 生徒の気質や適性、希望の真意をとらえ、どの道に進むことが本人にとって最も幸せなのかを検討してください。

- 2 「志望校の“合格”」は、**ゴールではありません**。次の3年間の「スタートライン」です。充実した学校生活を送るためにも、通学時間や学力に余裕のある学校で、教育方針や雰囲気などが自分に合った学校を選びたいものです。

進路決定に向けて、家庭でも情報収集と検討を積極的にお願ひします。中学校でも情報を提供するとともに、進路の相談にのります。

最終的な決定は生徒本人および家庭でお願ひします。

- 3 各学校の体験入学や学校説明会があります。

教育方針や学校の雰囲気等の比較・検討を十分にした上で、受験校を決定してください。

- (1) 私立にも公立にも、受験を検討する**複数校の説明会に参加**することをお勧めします。
- (2) 説明会の申し込み方法は、学校により異なります。

○見学校のHPから各自で申し込む → 「Let's 学校見学」に記入して担任へ報告

○中学校を通して申し込む（ごく一部の学校） → 早めに担任へ相談する

※学校説明会の情報は、見学校のHPを参照するなど、原則として各自で入手する。

※案内のチラシや連絡等の一部は L-Gate（校内 web 掲示板）に掲載 or 教室に掲示。

- (3) 説明会の日時と、家庭や習い事などの予定が重ならないように事前に確認してください。

※他の参加希望者にも迷惑をかけることがあるので、体調不良以外での**キャンセルはしないように**してください。

- (4) 自転車や電車を利用するなど、**実際に登校する交通手段で説明会に参加**し、所要時間や通学経路を確認することをお勧めします。

- (5) **推薦入試・特色入試**希望者、**専修学校**（専門学校）希望者は、説明会への参加は必須です。

4 学校説明会への参加日および入試日は、「学校管理下」となりません。

- ・入試で中学校に登校しなかった日は、「高校等受験」を理由とする出席停止扱いとなります。
- ・行き帰り等でケガをした場合でも、**日本スポーツ振興センターの保険は使えません。**
- ・損害賠償責任を負った場合に備え、必ず家庭で保険に加入してください。

5 心配なことや質問、相談があれば、早めに担任へ相談して下さい。

- ・**県外の高校**の受験の希望。
- ・県内での**転居**、**県外への転居**、**帰国**の予定。
- ・豊田高専や名大附属高校など、**国立**の学校の希望。
- ・**実技試験**がある学校の受験の希望（音楽科、デザイン科、美術科、スポーツ科学科など）
- ・定時制課程、通信制課程の学校の希望 など

6 懇談会は「確認の場」と考えています。

※私立受験校の**最終確認**:12月の懇談会

- ・**公立受検校**および**公立/私立を通した志望順位の確認**をします。

相談は懇談会よりも前にしていただき、事前に家庭で十分に話し合ってください。

7 生活の乱れによる遅刻や欠席があれば、進路にも影響が出てしまいます。

- ・病気等の**欠席日数**について、できるだけ**6日以内**になるようにご注意ください。
- ・遅刻や早退についても、多くならないようにご注意ください。

受験は団体戦
勉強は個人戦

